



学校だより

墨田区立立花吾嬬の森小学校
http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/

令和5年3月1日
3月号／第208号
13学級 358名
墨田区立花 1-18-6
電話：3618-4911
校長 向井 一郎

3月を迎えて

校長 向井 一郎

いよいよ三月です。小村井香取神社の梅の花も満開になり、心の中が明るい気持ちになる季節です。でも、それは卒業生を送るお別れの季節でもあるのだと思うと、寂しい気持ちにもなります。2月18日（土）に、全校児童による「六年生を送る会」が行われ、各学年児童からの心のこもった演奏や歌、表現、言葉が6年生にプレゼントされました。体育館で待っている六年生の前に、各学年児童が交代で出かけていき発表をする形式で行いました。なのはな学級から五年生までの出し物が終わった後に、感謝の気持ちを込めて六年生が在校生へのメッセージと合唱を披露してくれました。体育館内で直接聞くことができたのは五年生だけでしたが、オンラインを通して全校児童にその思いが伝わり、感動を共有することができました。3日（金）には、「感謝を伝える会」が予定されています。六年生が、感謝の気持ちを表す会として行われます。いよいよ「卒業」の日が近づいてきました。

大子町への再訪問 勝手に姉妹町に決めてしまいました。

昨年「学校だより」10月、11月号で紹介した出来事の続きです。第一吾嬬国民学校の児童が、昭和19年から20年にかけて、茨城県の大子町に学童疎開をし、現地の方々のお世話になりながらがんばっていたということを綴りました。実際に秋に大子町を訪ね、その生活とつながる話やものを発見したことも紹介させていただきました。その中で手にした「昭和20年2月26日」の日付の入った六年生女子児童の古い写真のことも書きました。その日から78年経った同じ2月26日に大子町を再訪問してきました。当時、第一吾嬬国民学校の子供たちが、丘の上の十二所神社でお祈りをするために上り下りをした百段階段で、4年ぶりに「ひな祭り」が行われたからなのです。前回、大子町を訪ねた際に、町の様々な立場の方に偶然出会いました。その中のおひとりが、16年前にこのひな祭りを始められた「商工会の女性部長」ご本人だったのです。たまたま訪ねた書店のオーナーさんで、疎開の話インタビューする中で、大きな倉庫の中にしまわれているたくさんのお雛様を見せてくださったのです。各家庭で飾られなくなったお雛様たちがかわいそうなので、それらを集めお手入れをし、毎年3月に町中に飾り、一日限定で百段階段に並べて見てもらっているのだというのです。ただ、コロナ感染症が広がってから、そのイベントも中止になっているという話でした。今年こそ開催されると信じ、開催日もひな祭り前の週末2月26日だろうと予想し、昨年のうちに駅前の宿も予約しておきました。予想が当たり、先週末に盛大にお祭りが行われました。秋は静かな大子町でしたが、今回はものすごい人数で驚いてしまいました。百段階段に並べる1000体以上のお雛様は、当日の早朝6時から有志の手により並べられていました。マイナス3度の朝でした。素晴らしい光景でした。3年ぶりに太陽の光を受け、お雛様もみんな嬉しそうに笑っているように見えました。昼を過ぎると百段階段の前は大行列になっていました。本校と縁のある町が、こうやって活気づいている様子を見るのは本当にうれしくなります。78年前に立花（当時は吾嬬町）の子供たちを守ってくれた町なのです。私の中で「大子町は立花の姉妹町だ」と勝手に決めてしまいました。誰かに進言したいくらいです。

実は、周年の式典の中で六年生に見せた当時の6年女子の中の一名の連絡先が分かり、先日電話でお話することができました。写真のコピーをお送りしたところ、会っていただけることになりました。少し離れた町に住まわれているので、今回の大子町の様子の写真も見ていただきながら当時のお話を教えていただこうと思っています。ドキドキしながらその時を待っているところです。



疎開児童が記念写真を撮影した石段にもおひな様が並んでいました。

3月の予定


月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27	28	01 朝読書	02 集会	03 朝自習 感謝を伝える会(5校時) (1~5年4時間授業)	04	05
06 朝会	07 学級の時間 B時程	08 朝読書	09 集会	10 朝自習 すみだいじめ防止の日	11	12
13 朝会 平和集会(1校時)	14 学級の時間	15 朝読書	16 集会 卒業式準備(6校時) (5年生以外5時間授業)	17 朝自習 卒業式予行(5,6校時) (1~4年4時間授業)	18	19
20 朝会 給食終	21 春分の日	22 4時間授業	23 卒業式	24 修了式 ※お別れの会	25	26
27	28	29	30	31	春期休業 (4月5日まで)	

【お願い】・予定は、新型コロナウイルス感染症等の状況により縮小・中止になることがあります。あらかじめご了承ください。

- ※ 3月の避難訓練は予告なしで行います。
- ※ 卒業式／修了式の詳細は別途、文書または配信でお知らせ致します。
- ※ 4月最初の予定は以下の通りです。詳細は春期休業前に発行される「学年だより」をご覧ください。
 ・4月5日 新6年生事前登校日 ・4月6日 前期始業式／入学式

※お別れの会の実施

今年度より、都教育委員会の方針により、年度内に都費負担正規教員の異動が発表されることになりました。年度内に子供たちとお別れの機会がもてるようにするためです。3月22日（水）に新聞等で人事異動名簿が報道されます。それに伴い、本校でも修了式の後に、児童とのお別れの場を設ける予定です。なお、これまで行ってきた「離任式」は新年度に改めて実施する予定です。



◎生活目標 学年の最後をしめくくろう

◎保健目標 耳を大切にしよう／1年間の健康生活の反省をしよう

◎給食目標 1年間の給食を振り返ろう

令和4年度学校評価について

ご回答、ありがとうございました。昨年度の数値を加えたものをホームページ上で公開します。ご覧ください。

令和4年度学校評価結果の回答数の状況 (A～E：単位%)

	令和4年度 回答家庭数 194	A	B	C	D	E
1	教員の授業の工夫わかりやすい指導と学力の向上	43.3	41.8	1.5	1.5	11.9
2	少人数指導や放課後学習など、個に応じた指導	37.1	47.4	2.1	0.5	12.9
3	地域や企業など外部人材を活用した教育の推進	33	43.3	2.1	2.1	19.6
4	学習意欲や学習習慣の定着(含タブレット端末活用)	41.8	46.9	5.7	1.5	4.1
5	明るく楽しい学校生活	55.7	39.2	3.6	0.5	1
6	「あいさつ」「おもいやりの心」の定着	40.2	46.9	7.2	2.1	3.6
7	健康・安全指導と決まりを守る態度や生活習慣	40.2	51	4.1	1	3.6
8	保護者会・学校公開・HP等による広報	47.4	42.3	7.7	0.5	2.1
9	道徳の時間の充実と心の教育の継続	40.2	43.3	2.1	1.5	12.9
10	支援を必要とする児童に対しての適切な指導☆	45.9	27.3	1.5	0.5	24.7
11	学校公開や行事など開かれた学校づくりの努力☆	49.5	43.3	3.1	2.1	2.1
12	感染症予防への取組の努力☆	51	39.7	5.2	0.5	3.6
13	引き取り訓練や避難訓練等の安全対策	51	42.8	1	0	4.6

「A=よい B=おおむねよい C=一部改善が必要 D=改善が必要 E=わからない」

○項目4「学習意欲や習慣の定着」についてはタブレット端末の効果的な活用に慣れ、学校、家庭での利用が増えたことで、学習意欲が高まったと考えている。(87%) 全校で1.5%の家庭で、改善を求める声があることも事実として受け止め、タブレット端末の活用に工夫を加えていくようにする。

○【項目5】「明るく楽しい学校生活」では、A、B合計が94.9%(昨年度91%)の高評価である。児童に対しての調査結果でも「学校が楽しい」と答えた児童が90%である。目標にも掲げている「明日が楽しみになる学校」づくりをさらに進め、開校以来続けている校風や「立吾しくさ」を大切にしたい教育活動を進める。

○項目5との関連として、項目1「授業の工夫、わかりやすい指導」の項目は重要である。授業が分からない、つまらないという状況では、学校生活への意欲は高まらない。そういう視点で項目1の数値を見ると、85.1%の家庭が肯定的に見てくださっている。(昨年度と同じ数値) この数値がさらに上がるように校内研での研修も重ね、より良い授業づくりに努める。

○【項目6】「あいさつ」「思いやりの心」は、本校の教育の要である。A、B合計が87.1%(81%)と昨年度の数値よりも上がっている。項目9で評価をいただいている「道徳教育」等を通して「心の教育」にさらに力を入れるようにする。

○【項目9】「道徳の時間の充実と心の教育の継続」については、A、B合計が83.5%に若干上がっている。道徳授業地区公開講座の公開だけではなく、日常の道徳の時間を大事にしていきたい。どのような教育を行っているのかは、ホームページ等で公表していくようにする。

○【項目11】開かれた学校作りは、今年度開校15周年を契機として、地域との結びつきを意識した人材交流、さらに、地域教材の開発などに力点を置いたことで、大幅に数値が向上している。(92.8%→74%)今年度つながりをもつことができた部分を軸としながら、さらに地域に開かれた学校づくりに努力する。

○【項目10】は「特別な支援教育」の観点項目とした。A、B合計が73.2%(72%)であり、さらに努力が必要である。すべての子どもが、安心して、楽しく通うことのできる学校であることへの努力を継続する。幼保・小・中の連携は其中で不可欠であり、引き続き継続をする。



6年生を送る会

2月18日(土)に6年生を送る会が行われました。どの学年も6年生に感謝の気持ちを伝えたいと、練習を重ね、本番を迎えました。各学年、歌や演奏、朗読、クイズなど全力で頑張る姿が見られました。6年生は各発表を聞きながら温かい表情で見守ったり、真剣な表情で凝視したり、大笑いしたりしながら会全体をじっくり味わっていました。6年生からの合唱「旅立ちの日に」は、素敵なハーモニーが体育館に響き渡りました。卒業まであと少し。希望と不安を胸に抱きながらも前に進む6年生と良き立吾小の伝統をしっかりと引き継いでいこうとする下級生の決意が感じられた会になりました。



社会科見学 5年生

2月15日(水)に明治ファクトリー坂戸工場に見学に行ってきました。工場を見学した後の感想です。(工場内が撮影禁止だったため、写真の掲載ができないことをお許しください。)



- ・明治では、消費者の健康について考えて、研究を重ね、消費者に美味しい商品を届けていました。(S・I)
- ・働いている人がラジオ体操をする時間があり、働く人の健康にも気を使っていることが分かりました。(K・K)
- ・アポロのチョコは「アポロ11号」がモデルになっていたり、1分間に140枚ものチョコレートを包装したりと、たくさんの情報を知ることができました。(Y・M)
- ・チョコレートがカカオ豆からできていること、工場の中はチョコのにおいがしていたことなどを知りました。(K・M)



お箏の授業 4年生

2月7日(火)に地域の箏の演奏家、金子展寛先生にお越しいただき、4年生がお箏を教わりました。お箏の歴史や譜面の読み方、良い音の出し方などたくさんのお箏の先生から教わり、最後にはクラス全員で「さくらさくら」を演奏しました。この授業がきっかけで4年生はお箏がとても好きになり、今では休み時間に音楽室に来て「さくらさくら」の練習をする児童もいます。

